

# 再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：鈴木克宗

事業名	一般国道45号 <small>なかの</small> 中野バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：下閉伊郡岩泉町大字小本字中野 至：下閉伊郡田野畑村大芦	延長	6.2 km		

**事業概要**  
中野バイパス（自動車専用道路）は、三陸北縦貫道路の一部を構成する延長約6.2kmの一般国道45号のバイパスであり、宮古地方生活圏と久慈二次生活圏の連結を強化し、岩手県沿岸北部の地域連携の促進に大きく寄与するものである。

S 6 1年度事業化	都市計画区域外	H 1 1年度用地着手	H 1 3年度工事着手
全体事業費	150億円	事業進捗率	40%
計画交通量	4,370台/日		

費用対効果 分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年 平成17年
	(事業全体) 1.3 (残事業) -	(残事業)/(事業全体) -/163億円 （事業費：-/139億円 維持管理費：-/23億円）	(残事業)/(事業全体) -/214億円 （走行時間短縮便益：-/159億円 走行費用減少便益：-/40億円 交通事故減少便益：-/15億円）	

**感度分析の結果** 事業全体について下記3種類の感度分析を実施  
 【事業全体】交通量変動：B/C=1.4(交通量+10%) B/C=1.2(交通量-10%)  
 事業費変動：B/C=1.2(事業費+10%) B/C=1.4(事業費-10%)  
 事業期間変動：B/C=1.1(事業期間+20%) B/C=1.6(事業期間-20%)

**事業の効果等**  
 ・国土・地域ネットワークの構築（地域高規格道路としての位置付け）  
 ・安全で安心できるくらしの確保（交通隘路区間回避による安全で円滑な交通の確保）他11項目に該当  
**関係する地方公共団体等の意見**  
 中野バイパスは、岩手県沿岸地域の連携強化を促進する地域高規格道路ネットワークを形成するとともに、安全で円滑な交通の確保等の効果が期待されており、久慈市をはじめとする関係9市町村の首長で構成される三陸北縦貫道路整備促進期成同盟会より、早期整備の要望を受けている。

**事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等**  
 この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。

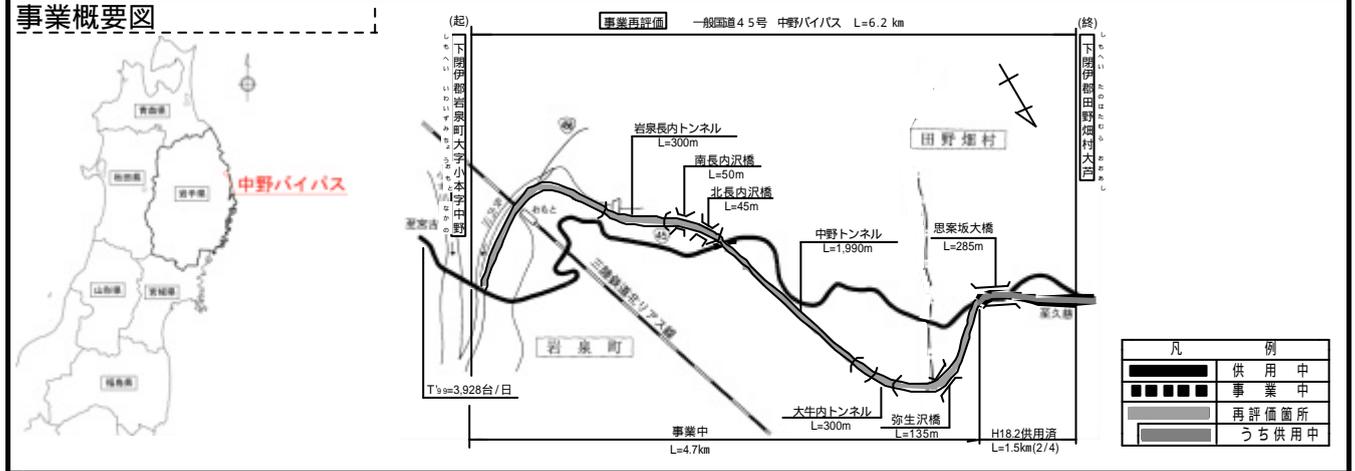
**事業の進捗状況、残事業の内容等**  
 【執行済み額】事業費：60億円（進捗率 40%） うち用地費：5億円（進捗率 63%）

**事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等**  
 平成17年度は、南大芦～大芦間のL=1.5kmについて、2車線供用を目標に事業推進を図る。

**施設の構造や工法の変更等**  
 思案坂大橋において、金属溶射方式を行い、将来の塗装メンテナンス費用を削減しLCCを抑えている。

**対応方針** 事業継続

**対応方針決定の理由**  
 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。